

# スポーツ振興計画 具体的施策

## 進捗状況確認・評価シート集

### 基本目標 3

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

基本目標	3	スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げる				
基本方針	(1)	各種団体間の連携・協働の推進				
基本方針詳細	(1) - 1					
具体的施策	①	(一社) 鯖江市体育協会の育成・支援				
具体的内容	各種団体間の連携・協働の推進に向けて、鯖江市におけるスポーツ活動の推進母体である(一社) 鯖江市体育協会の育成、各種取り組みに対する支援を行います。					
具体的展開	①(一社) 鯖江市体育協会の行う各種事業に対する指導・助言 ②(一社) 鯖江市体育協会の行う各種事業に対する財政的支援					
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課				
	24年度	①指定管理者モニタリング、(一社) 鯖江市体育協会総務委員会などを通じて市との意思疎通、情報共有、意見交換を行った。 ②生涯スポーツ振興交付金として16,750千円を交付し、市民体育大会など企画から実施まで(一社) 鯖江市体育協会が自主運営する6事業に支援した。				
	25年度	①指定管理者モニタリング、(一社) 鯖江市体育協会総務委員会などを通じて市との意思疎通、情報共有、意見交換を行った。 ②生涯スポーツ振興交付金として16,750千円を交付し、市民体育大会など企画から実施まで(一社) 鯖江市体育協会が自主運営する6事業に支援した。				
	26年度	①指定管理者モニタリング、(一社) 鯖江市体育協会総務委員会などを通じて市との意思疎通、情報共有、意見交換を行った。 ②生涯スポーツ振興交付金として16,750千円を交付し、市民体育大会など企画から実施まで(一社) 鯖江市体育協会が自主運営する6事業に支援した。				
	27年度	①指定管理者モニタリング、(一社) 鯖江市体育協会総務委員会などを通じて市との意思疎通、情報共有、意見交換を行った。 ②生涯スポーツ振興交付金として16,750千円を交付し、市民体育大会など企画から実施まで(一社) 鯖江市体育協会が自主運営する6事業に支援した。				
	28年度	①指定管理者モニタリング、(一社) 鯖江市体育協会総務委員会などを通じて市との意思疎通、情報共有、意見交換を行った。 ②生涯スポーツ振興交付金として16,750千円を交付し、市民体育大会など企画から実施まで(一社) 鯖江市体育協会が自主運営する6事業に支援した。				
これまでの進捗状況のまとめ	毎年、継続的に実施している。					
今後の課題	種目協会、地区協会など各種団体間の連携・協働を円滑に進めるためには、指導的立場にある(一社) 鯖江市体育協会の組織および財政の基盤強化と人材育成が必要である。					
新たな具体的展開	これまでの仕組みを継続する中で、市と(一社) 鯖江市体育協会の情報共有・意思疎通を緊密にするための短期での人的交流を進める。					
中間評価(効果・有効性等)	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	



スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

基本目標	3	スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げる				
基本方針	(1)	各種団体間の連携・協働の推進				
基本方針詳細	(1) - 1					
具体的施策	②	組織の枠を越えたネットワークづくり				
具体的内容		各種団体で行われる取り組みの効果をより高め、鯖江型の生涯スポーツの振興を図るため、既存の組織の枠を越えたネットワークづくりに取り組みます。				
具体的展開		①(一社)鯖江市体育協会を中心とするネットワーク会議の開催(総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 など) ②スポーツ指導者、スポーツ推進委員など指導者間の交流 ③既存のスポーツ施設、スポーツイベント、スポーツボランティアなどに関する情報の共有化、多様な媒体を通じた効果的な情報の発信				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課			市体育協会	
	24年度	③具体的な取組は行っていない。			「つつじマラソン」「市民なわとび大会」等を通じて体育協会とスポーツ推進委員との交流促進、また総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、各スポーツ団体との交流促進	
	25年度	③具体的な取組は行っていない。			「つつじマラソン」「市民なわとび大会」等を通じて体育協会とスポーツ推進委員との交流促進、また総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、各スポーツ団体との交流促進	
	26年度	③具体的な取組は行っていない。			「つつじマラソン」「市民なわとび大会」等を通じて体育協会とスポーツ推進委員との交流促進、また総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、各スポーツ団体との交流促進	
	27年度	③具体的な取組は行っていない。			「つつじマラソン」「市民なわとび大会」等を通じて体育協会とスポーツ推進委員との交流促進、また総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、各スポーツ団体との交流促進	
	28年度	③具体的な取組は行っていない。			「つつじマラソン」「市民なわとび大会」等を通じて体育協会とスポーツ推進委員との交流促進、また総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、各スポーツ団体との交流促進	
これまでの進捗状況のまとめ		年度ごとの活動実績・活動状況に記載のとおり。			鯖江市体育協会に、主なスポーツ団体が殆ど加盟しており、体育協会が主催する交付金事業には各団体の協力得ながら実施されている。	
今後の課題		市内または市民が関心のあるスポーツイベントが、いつ、どこで開かれるのか、といった情報が網羅的に確認できる媒体が存在していないため、市民からの照会にも十分な回答ができない場合が多い。			総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を有効に活用、また発展させながら、各団体の情報を共有化、各事業での協働体制を構築し、事業効果を高めていく必要がある。	
新たな具体的展開		市、関係団体、民間などあらゆるスポーツイベント情報を網羅した、いわゆる「さばえスポーツカレンダー」のような情報媒体を作成し、市民に情報発信・提供できる仕組みを構築するための検討を行う。				
中間評価(効果・有効性等)	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	



スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

基本目標	3	スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げる				
基本方針	(2)	生涯スポーツを支える人材の育成				
基本方針詳細	(2) - 1	スポーツ指導者の育成・支援				
		生涯スポーツなどを指導するスポーツ指導者から、競技スポーツ指導者まで、多様なニーズに応じた指導者を育成し、その活動に対する支援を行います。				
具体的施策	①	スポーツ推進委員の委嘱・資質向上				
具体的内容		社会的信望とスポーツに関する深い関心・理解を兼ね備え、地域の住民に対してスポーツに関する指導・助言する能力のある人をスポーツ推進委員として委嘱し、その資質向上に努めます。				
具体的展開		①スポーツ推進委員に対する研修、講習会の開催 ②スポーツ推進委員協議会の開催 ③国や県が主催するスポーツ推進委員を対象とする講習会への派遣				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課				
	24年度	①11月20日県外研修(滋賀県野洲市)、1月17日ストレッチ講習(総合体育館)、3月2日～3日普通救命講習(鯖江・丹生消防組合消防本部)を開催 ②全員協議会を年12回、常任委員会を年10回開催 ③6月30日～7月1日北陸地区スポーツ推進委員研修会(新潟県新潟市)、11月4日福井県スポーツ推進委員研修会(勝山市)、11月29日～30日全国スポーツ推進委員研究協議会(長崎県長崎市)へ派遣				
	25年度	①9月16日県外研修(岐阜県瑞穂市)を開催 ②全員協議会を12回、常任委員会を4回開催 ③7月13日～14日北陸地区スポーツ推進委員研修会(富山県南砺市)、9月8日県初任者研修会(サンドーム福井)、10月27日福井県スポーツ推進委員研修会(越前市)、11月21日～22日全国スポーツ推進委員研究協議会(和歌山県和歌山市)へ派遣				
	26年度	①1月24日～25日普通救命講習(鯖江・丹生消防組合消防本部)、2月11日越前市合同研修会(総合体育館)を開催 ②全員協議会を年11回、常任委員会を年5回開催 ③6月28日～29日北陸地区スポーツ推進委員研修会(石川県輪島市)、8月24日県初任者研修会(敦賀市)、9月25日～26日全国スポーツ推進委員研究協議会(岩手県盛岡市)、11月9日福井県スポーツ推進委員研修会(あわら市)、12月14日基礎体力づくり講習会へ派遣				
	27年度	①1月21日養成講座(スポーツ交流館)、2月11日五市町交流研修会(越前市)を開催 ②全員協議会を年11回、常任委員会を年6回開催 ③7月4日～5日北陸地区スポーツ推進委員研修会(サンドーム福井)、7月12日クラブマネージャー養成研修会(坂井市)、8月9日基礎体力づくり講習会(越前市)、9月26日青少年スポーツ指導者講習会(スポーツ交流館)、11月8日福井県スポーツ推進委員研修会(永平寺町)、11月12日～13日全国スポーツ推進委員研究協議会(愛媛県松山市)へ派遣				
	28年度	②全員協議会を4回、常任委員会を2回開催 ③6月25日～26日北陸地区スポーツ推進委員研修会(新潟県上越市)、7月24日福井県スポーツ推進委員研修会(おおい町)へ派遣				
これまでの進捗状況のまとめ		各年度活動実績・活動状況に記載のとおり				
今後の課題		毎年1月から3月にかけて行う養成講座(ストレッチ講習、普通救命講習など)をより充実させる必要がある。また、講習への参加者は偏りがあるため、スポーツ推進委員全体の資質向上のためには全員が何らかの研修および講習に参加するよう促す必要がある。				
新たな具体的展開						
中間評価(効果・有効性等)	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	



スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

基本目標	3	スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げる				
基本方針	(2)	生涯スポーツを支える人材の育成				
基本方針詳細	(2) - 1	スポーツ指導者の育成・支援				
		生涯スポーツなどを指導するスポーツ指導者から、競技スポーツ指導者まで、多様なニーズに応じた指導者を育成し、その活動に対する支援を行います。				
具体的施策	②	スポーツ指導者の資質向上・資格取得への支援				
具体的内容		スポーツ指導者としての資質向上・資格取得を目指す市民に対して、関係機関と連携し、日本体育協会の公認スポーツ指導者、各種目団体認定指導者などの資格取得を促進し、指導者に対する市民の信頼、理解を深めます。				
具体的展開		①関係機関が主催するスポーツ指導者を対象とする研修会への参加促進 ②日本体育協会公認スポーツ指導者、各種目団体認定指導者などの資格取得の促進（資格の種類や取得方法に関する情報提供など）（新規）				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市体育協会				
	24年度					
	25年度	卓球協会、弓道協会、バレーボール協会に指導者育成の助成				
	26年度	スポーツ指導者としての資質向上・資格取得 AED講習会 ボウリング協会、柔道協会、バトミントン協会に指導者育成の助成				
	27年度					
	28年度					
これまでの進捗状況のまとめ		鯖江市体育協会が受けている市の交付金事業のなかで、スポーツ指導者育成助成（4万円）を実施し、各種目の競技力向上を図っている。				
今後の課題		各競技団体において、指導者の高齢化も見受けられるため、指導者の育成を必要とする。				
新たな具体的展開						
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	





スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

基本目標	3	スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げる				
基本方針	(2)	生涯スポーツを支える人材の育成				
基本方針詳細	(2) - 1	スポーツ指導者の育成・支援				
		生涯スポーツなどを指導するスポーツ指導者から、競技スポーツ指導者まで、多様なニーズに応じた指導者を育成し、その活動に対する支援を行います。				
具体的施策	③	ニーズに応じたスポーツ指導者の紹介				
具体的内容	市内のスポーツ指導者に関する情報の整理、適切な指導者の紹介などにより、スポーツの指導、健康・体力づくりの指導、講習会の講師役など、スポーツに関する市民の多様なニーズに応えます。					
具体的展開	①福井県広域スポーツセンターによるスポーツ指導者バンクの普及・活用【3-(3)-⑤で再掲】 ②鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用（新規）【3-(3)-⑤で再掲】					
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市生涯学習課			さばえスポーツクラブ	
	24年度	鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用			クラブには、各種目協会・連盟等に所属するクラブスクールの指導者をはじめ、サークルでの競技指導者、教室の専門講師がいる。	
	25年度	鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用			クラブには、各種目協会・連盟等に所属するクラブスクールの指導者をはじめ、サークルでの競技指導者、教室の専門講師がいる。	
	26年度	鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用			クラブには、各種目協会・連盟等に所属するクラブスクールの指導者をはじめ、サークルでの競技指導者、教室の専門講師がいる。	
	27年度	鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用			クラブには、各種目協会・連盟等に所属するクラブスクールの指導者をはじめ、サークルでの競技指導者、教室の専門講師がいる。	
	28年度	鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用			クラブには、各種目協会・連盟等に所属するクラブスクールの指導者をはじめ、サークルでの競技指導者、教室の専門講師がいる。	
これまでの進捗状況のまとめ	鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用 (各地区公民館で職員が登録者リストの検索ができる。年度当初に公民館にチラシ設置している。)			ニーズに応じたスポーツ指導者は現時点では足りている。		
今後の課題	鯖江市生涯学習スポーツ人材バンク登録者数の増加を図る。			クラブ専属の指導者ではないため、人材バンク登録をしているかどうか、把握出来ていない。指導者の確保・育成に力を注ぐ必要がある。		
新たな具体的展開						
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認	推進委員会の提言		



スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

基本目標	3	スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げる	
基本方針	(2)	生涯スポーツを支える人材の育成	
基本方針詳細	(2) - 2	スポーツボランティアの育成・活動支援	
		市民の「支える」スポーツに関する意識啓発を図り、スポーツボランティアの人材育成、安心してスポーツボランティア活動を行える環境づくりを推進します。	
具体的施策	④	スポーツボランティアの育成	
具体的内容		市民のスポーツ活動を支えるために重要な役割を果たすスポーツボランティアの人材を確保し、その育成に努めます。	
具体的展開		①スポーツボランティア研修会の開催 ②各種スポーツ大会・イベントでのスポーツボランティアの活用 ③鯖江市のホームページ、広報誌などを通じたスポーツボランティアに関する情報提供 ④提案型市民主役事業化制度の活用	
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	市体育協会
	24年度	②つつじマラソンにおける鯖江市陸上競技協会を主管とする競技運営体制は、スポーツボランティアの一類型であり、他のイベントにも同様の形態がある。 ④リスタート・フレッシュアップ事業（健康増進と体力づくりによる生涯スポーツの推進）を委託実施	つつじマラソンなど、体育協会主催の事業に対し、一般ボランティア、加盟団体の協力
	25年度	②つつじマラソンにおける鯖江市陸上競技協会を主管とする競技運営体制は、スポーツボランティアの一類型であり、他のイベントにも同様の形態がある。 ④リスタート・フレッシュアップ事業（健康増進と体力づくりによる生涯スポーツの推進）を委託実施	つつじマラソンなど、体育協会主催の事業に対し、一般ボランティア、加盟団体の協力
	26年度	②つつじマラソンにおける鯖江市陸上競技協会を主管とする競技運営体制は、スポーツボランティアの一類型であり、他のイベントにも同様の形態がある。 ④リスタート・フレッシュアップ事業（健康増進と体力づくりによる生涯スポーツの推進）を委託実施	つつじマラソンなど、体育協会主催の事業に対し、一般ボランティア、加盟団体の協力
	27年度	②つつじマラソンにおける鯖江市陸上競技協会を主管とする競技運営体制は、スポーツボランティアの一類型であり、他のイベントにも同様の形態がある。 ④リスタート・フレッシュアップ事業（健康増進と体力づくりによる生涯スポーツの推進）を委託実施	つつじマラソンなど、体育協会主催の事業に対し、一般ボランティア、加盟団体の協力
	28年度	②つつじマラソンにおける鯖江市陸上競技協会を主管とする競技運営体制は、スポーツボランティア活用の一類型であり、他のイベントにも同様の形態がある。 ③スポーツボランティアに特化はしていないが、平成30年福井しあわせ元気国体・しあわせ元気大会（プレ大会を含む。）に向けた鯖江市ボランティアの募集をHP・広報紙で行っている。 ④リスタート・フレッシュアップ事業（健康増進と体力づくりによる生涯スポーツの推進）を委託実施	つつじマラソンなど、体育協会主催の事業に対し、一般ボランティア、加盟団体の協力
これまでの進捗状況のまとめ		各年度活動実績・活動状況に記載のとおり	恒例の鯖江つつじマラソンのボランティアは、毎年同じ団体から協力を得ている。
今後の課題		各種スポーツ大会・イベントの運営をボランティアとして支えるのは、各スポーツ種目の経験者から構成される種目協会や種目団体であるが、少子高齢化の影響もあって会員等の高齢化と後継者不足が見受けられる。	福井国体開催に向けて、ボランティア参加の積極的な募集を要する。
新たな具体的展開			

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

中間評価（効果・有効性等）	進捗状況 の評価		今後の 方向性の 確認		推進委員 会の提言	
---------------	-------------	--	-------------------	--	--------------	--

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

基本目標	3	スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げる		
基本方針	(3)	競技力向上のための支援体制の充実		
基本方針詳細	(3) - 1	競技者の育成・支援		
		地元のスポーツ選手の活躍は市民の誇りであり、市民のスポーツに関する関心・興味を高め、スポーツ活動の実践にもつながることが期待されるため、国体や県民スポーツ祭などの全国レベルまたは県レベルの大会においても活躍できる優れた競技者の育成・支援を図ります。		
具体的施策	①	競技力向上のための機会の充実		
具体的内容		(一社) 鯖江市体育協会や各種目別団体などとの連携・協働により、競技力を向上させるための機会の充実を図ります。		
具体的展開		①種目別競技会の開催、充実 ②スポーツ少年団などとの連携によるジュニア世代からの継続的な競技スポーツ機会の提供 ③各種スポーツ団体や種目団体レベルでのスポーツ先進地との交流の促進 ④関係機関との連携による全国的なスポーツイベントの開催(再掲) <b>【2-(3)-①、3-(3)-③で再掲】</b> ⑤種目別団体との連携による県民スポーツ祭への積極的な選手派遣 ⑥学校体育大会の開催(鯖江市連合体育大会、福井県中体連、鯖丹地区中体連 など)(再掲) <b>【1-(2)-②で再掲】</b> ⑦スポーツのまちにふさわしいスポーツ倫理の普及・啓発(ドーピングの防止、スポーツマンシップの浸透 など)(新規) <b>【3-(3)-③で再掲】</b>		
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	市学校教育課	市体育協会
	24年度	⑦特に活動なし。	①・器械運動強化練習会(各校代表者がプロの指導者から技術指導を受ける) ・器械運動交歓会(全小学校の代表者が器械運動の技を披露) ④・さばえスポーツクラブ2012陸上教室(陸上競技を通して、子どもたちの体力づくりと技術向上を図る) ⑥・中体連主催強化大会、連合体育大会、夏季大会、秋季大会、協会主催の大会に多くの生徒が参加	・市長杯他、各種大会の開催 ・県民スポーツ祭(選手552名)市町対抗28種目51競技、交流11種目13競技 強化費、激励費、3位以内の報償費 ・加盟団体振興費、大会参加等実績に対し助成金
	25年度	⑦特に活動なし。	①・器械運動強化練習会(各校代表者がプロの指導者から技術指導を受ける) ・器械運動交歓会(全小学校の代表者が器械運動の技を披露) ④・さばえスポーツクラブ2013陸上教室(陸上競技を通して、子どもたちの体力づくりと技術向上を図る) ⑥・中体連主催強化大会、連合体育大会、夏季大会、秋季大会、協会主催の大会に多くの生徒が参加	・市長杯他、各種大会の開催 27大会 ・県民スポーツ祭(選手573名)市町対抗33種目56競技、交流11種目 強化費、激励費、3位以内の報償費 ・ジュニア アスリート クリニック in さばえ(JACIS) 鯖江市東公園陸上競技場 短距離、ハードル、走り高跳び、やり投げ、円盤投げ、藤光謙司、土屋光、大岩雄飛、山本一喜、熊谷史子5名の陸上界の日本トップレベル選手
	26年度	⑦特に活動なし。	①・器械運動強化練習会(各校代表者がプロの指導者から技術指導を受ける) ・器械運動交歓会(全小学校の代表者が器械運動の技を披露) ④・さばえスポーツクラブ2014陸上教室(陸上競技を通して、子どもたちの体力づくりと技術向上を図る) ・地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト <放課後遊び>体育の授業以外でも楽しく体力づくりとなる場を設けて運動嫌いの子どもの数を減らす。(サッカー、ハンドボール、ホッケー、野球、体操) <トップアスリートと遊ぼう>トップアスリートの技術指導を希望する学校を募集し、トップアスリートを派遣して教室を開催(惜陰小、鳥羽小、片上小、中河小、吉川小)	・県民スポーツ祭(選手552名)市町対抗33種目56競技、交流11種目 強化費、激励費、3位以内の報償費 ・加盟団体振興費、大会参加等実績に対し助成金 ・市長杯他、各種大会 27大会 ・ジュニア アスリート クリニック in さばえ(JACIS) 中山公園 早稲田 土橋監督 林恵里奈選手、梶谷桜舞

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

			⑥・中体連主催強化大会、連合体育大会、夏季大会、秋季大会、協会主催の大会に多くの生徒が参加	
	27年度	⑦特に活動なし。	①・器械運動強化練習会（各校代表者がプロの指導者から技術指導を受ける） ・器械運動交歓会（全小学校の代表者が器械運動の技を披露） ④・さばえスポーツクラブ 2015 陸上教室（陸上競技を通して、子どもたちの体力づくりと技術向上を図る） ・地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト ＜放課後遊び＞体育の授業以外でも楽しく体力づくりとなる場を設けて運動嫌いの子どもの数を減らす。（サッカー、ハンドボール、ホッケー、野球、体操） ＜トップアスリートと遊ぼう＞トップアスリートの技術指導を希望する学校を募集し、トップアスリートを派遣して教室を開催。（惜陰小、片上小、吉川小） ⑥・中体連主催強化大会、連合体育大会、夏季大会、秋季大会、協会主催の大会に多くの生徒が参加	・県民スポーツ祭（選手 492 名）市町対抗 31 種目 57 競技、交流 5 種目 強化費、激励費、3 位以内の報償費 ・加盟団体振興費、大会参加等実績に対し助成金 ・市長杯他、各種大会の開催 27 大会 ・ジュニアアスリートクリニック in さばえ（JACIS） 元プロ野球選手による学童教室、鯖江市総合体育館 遠藤一彦、川上誠二、彦野利勝、村上隆行
	28年度	⑦特に活動なし。	①・器械運動強化練習会（各校代表者がプロの指導者から技術指導を受ける） ・器械運動交歓会（全小学校の代表者が器械運動の技を披露） ④・さばえスポーツクラブ 2016 陸上教室（陸上競技を通して、子どもたちの体力づくりと技術向上を図る） ⑥・中体連主催強化大会、連合体育大会、夏季大会、秋季大会、協会主催の大会に多くの生徒が参加	・県民スポーツ祭（選手 567 名） 強化費、激励費、3 位以内の報償費 ・加盟団体振興費、大会参加等実績に対し助成金 ・市長杯他、各種大会の開催 27 大会
これまでの進捗状況のまとめ	年度ごとの活動実績・活動状況に記載のとおり		小学校体育研究部会・中体連等の学校体育団体と競技団体が密接なネットワークを構築し、様々な練習会、研修会、大会を開催。強化専門委員や外部指導者から専門性の高い指導を受けることにより、子どもたちの競技力や体力の向上はもちろんのこと、指導者側の指導体制も充実しつつある。	・県民スポーツ祭の参加をはじめ、各競技毎に開催される市長杯のほか各種大会の開催を通じて競技力向上を図る。 ・体育協会は自主事業として「ジュニアアスリートクリニック in さばえ（JACIS）」を開催しており、トップアスリートを招聘して青少年の育成による競技力向上を図っている。
今後の課題	国民体育大会でもドーピング検査が導入され、アンチ・ドーピングは選手にとって不可欠な知識となっていることから、十分な啓発が必要である。		競技団体内の強化責任者を中心に、競技種別強化計画を策定し、的確な現状分析に基づいた強化事業を効率的、効果的に実施できるよう、事業の予算化を図り、内容をさらに充実させていく。	
新たな具体的展開	（一社）鯖江市体育協会や総合型地域スポーツクラブと連携して、特に青少年の選手を対象にしたアンチ・ドーピング教育を実施する。		市と小学校体育研究部会・中体連等の学校体育団体と競技団体が連携し、地域内の小・中・高校生に対する当該競技の育成・強化に努める。	
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認	推進委員会の提言

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

基本目標	3	スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げる				
基本方針	(3)	競技力向上のための支援体制の充実				
基本方針詳細	(3) - 1	競技者の育成・支援				
		地元のスポーツ選手の活躍は市民の誇りであり、市民のスポーツに関する関心・興味を高め、スポーツ活動の実践にもつながることが期待されるため、国体や県民スポーツ祭などの全国レベルまたは県レベルの大会においても活躍できる優れた競技者の育成・支援を図ります。				
具体的施策	②	競技者の意欲向上への支援				
具体的内容		地元の優れたスポーツ選手に対する顕彰制度などの充実により、競技スポーツに取り組む選手の意欲向上を図ります。				
具体的展開		①全国大会、国際大会などへの出場者に対する激励費の助成 ②全国大会などで優秀な成績を収めた地元の選手や団体に対する表彰 ③地元の選手や団体の活躍の紹介、PR				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課			市体育協会	
	24年度	①593件・4,538千円（国際大会4人、全国大会426人、地区大会162人、駅伝大会1団体） ②市民スポーツ大賞（1団体、1ペア、1個人）			・市中学校体育連盟、および市スポーツ少年団本部にジュニア育成費を助成 ・スポーツ特別功労者2名、スポーツ功労者13名、優秀指導者6名、優秀選手215名 ・国体激励 40名	
	25年度	①519件・4,043千円（国体36人、地区大会135人、全国大会340人、海外大会2人、海外遠征5人、駅伝大会1団体） ②③市民スポーツ大賞（1団体、1個人）、スポーツ栄光賞（1団体）を表彰し、市広報紙で紹介。			・市中学校体育連盟、および市スポーツ少年団本部にジュニア育成費を助成 ・スポーツ特別功労者2名、スポーツ功労者6名、優秀指導者2名、優秀選手254名 ・国体激励 36名	
	26年度	①543件・4,349千円（国体・障害者スポーツ大会60人、地区大会132人、全国大会341人、海外大会9人、駅伝大会1団体） ②③スポーツ栄光賞（1団体、1個人）を表彰し、市広報紙で紹介			・市中学校体育連盟、および市スポーツ少年団本部にジュニア育成費を助成 ・スポーツ功労者10名、優秀指導者3名、優秀選手212名 ・国体激励 60名	
	27年度	①472件・3,694千円（国体・障害者スポーツ大会34人、地区大会94人、全国大会334人、海外大会8人、海外遠征2人） ②③市民スポーツ大賞（2団体、2個人）を表彰。スポーツ栄光賞（2団体、4個人）を表彰し、市広報紙で紹介			・市中学校体育連盟、および市スポーツ少年団本部にジュニア育成費を助成 ・特別表彰2名、スポーツ功労者12名、優秀指導者5名、優秀選手261名 ・国体激励 63名	
	28年度					
これまでの進捗状況のまとめ		激励費の助成、優秀成績者に対する表彰について、それぞれの規定に従って継続実施している。			体育協会の表彰規程によるスポーツで活躍した指導者、および選手への表彰の実施、また国体への出場者に対し激励費の助成	
今後の課題		激励費助成については、競技大会の多様化に伴い、支給基準に直接的には合致しないが同レベルでの大会が増えてきている。				
新たな具体的展開						
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	





スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

基本目標	3	スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げる		
基本方針	(3)	競技力向上のための支援体制の充実		
基本方針詳細	(3) - 1	競技者の育成・支援		
		地元のスポーツ選手の活躍は市民の誇りであり、市民のスポーツに関する関心・興味を高め、スポーツ活動の実践にもつながることが期待されるため、国体や県民スポーツ祭などの全国レベルまたは県レベルの大会においても活躍できる優れた競技者の育成・支援を図ります。		
具体的施策	③	体操、駅伝など、地域で育まれてきたスポーツの振興		
具体的内容		鯖江市は、二度にわたる世界大会など「体操のまち」として知られており、近年では小中学校、および高校を中心として県駅伝大会でも好成績を収めています。 これらの競技については、今後も鯖江市を代表するスポーツとして市民の関心を高め、全国にも通用するように競技力を高めるための支援を行うとともに、県内外に広くアピールしていきます。		
具体的展開		①関係機関との連携による全国的なスポーツイベントの開催（再掲）【2-(3)-①、3-(3)-①で再掲】 ②体操、駅伝などの市内小中学校、高校の競技力向上への支援⇒県レベル、ブロックレベル、全国レベル大会支援（県駅伝、学童体操、北信越、社会人） ③各種メディアを通じた「体操のまち」、「駅伝のまち」としての全国的なPRの強化 ④鯖江市を代表するスポーツとしての市民への周知徹底、自発的な支援活動の促進 ⑤国体開催競技の市民への定着促進（準備段階からの啓発活動やPRイベント など） ⑥スポーツのまちにふさわしいスポーツ倫理の普及・啓発（ドーピングの防止、スポーツマンシップの浸透 など）（再掲）（新規）【3-(3)-①で再掲】		
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	市学校教育課	市体育協会
	24年度	①全国高等学校総合体育大会（体操・新体操）選手権大会 ②北信越国民体育大会（体操・新体操）支援、全国高等学校総合体育大会（体操・新体操）支援、北信越高等学校体育大会（ソフトテニス）支援、福井県駅伝選手権大会支援 ③全国高等学校総合体育大会（体操・新体操）の開催情報発信	①体育的行事や各種スポーツ大会への積極的参加 小学校：学童体操大会、県陸上競技会、わんぱく駅伝に多数参加 小学校・中学校・高校・一般の全ての駅伝大会は鯖江で実施 ②SABAE 記録会（月1回、駅伝強化のため、自由参加で記録会を行う） ④鯖江市体操協会の外部指導者が保育園に出向き、体操指導を実施	・つつじマラソンの開催 ・鯖江東公園陸上競技場を会場に、小学生、一般、高校駅伝の開催
	25年度	①2013 全国ブロック選抜U12 体操競技選手権大会 ②2013 全国ブロック選抜U12 体操競技選手権大会支援、福井県高等学校定時制総合体育大会（バドミントン、柔道）支援、福井県駅伝選手権大会支援 ③2013 全国ブロック選抜U12 体操競技選手権大会の開催情報発信	①体育的行事や各種スポーツ大会への積極的参加 小学校：学童体操大会、県陸上競技会、わんぱく駅伝に多数参加 小学校・中学校・高校・一般の全ての駅伝大会は鯖江で実施 ②SABAE 記録会（月1回、駅伝強化のため、自由参加で記録会を行う） ④鯖江市体操協会の外部指導者が保育園に出向き、体操指導を実施	・つつじマラソンの開催 ・鯖江東公園陸上競技場を会場に、小学生、一般、高校駅伝の開催
	26年度	②福井県駅伝選手権大会支援	①体育的行事や各種スポーツ大会への積極的参加 小学校：学童体操大会、県陸上競技会、わんぱく駅伝に多数参加 小学校・中学校・高校・一般の全ての駅伝大会は鯖江で実施 ②SABAE 記録会（月1回、駅伝強化のため、自由参加で記録会を行う） ④鯖江市体操協会の外部指導者が保育園に出向き、体操指導を実施	・つつじマラソンの開催 ・鯖江東公園陸上競技場を会場に、小学生、一般、高校駅伝の開催
	27年度	①全日本シニア体操競技選手権大会 ②全日本シニア体操競技選手権大会支援、北信越高等学校体育	①体育的行事や各種スポーツ大会への積極的参加 小学校：学童体操大会、県陸上競技会、わんぱく駅伝に多数	・つつじマラソンの開催 ・鯖江東公園陸上競技場を会場に、小学生、一般、高校駅伝の

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

	大会（体操・新体操）支援、全日本選抜還暦軟式野球大会支援、福井県駅伝選手権大会支援 ③全日本シニア体操競技選手権大会の開催情報発信	参加 小学校・中学校・高校・一般の全ての駅伝大会は鯖江で実施 ②SABAE 記録会（月1回、駅伝強化のため、自由参加で記録会を行う） ④鯖江市体操協会の外部指導者が保育園に出向き、体操指導を実施	開催
28年度	①全日本学生体操競技選手権大会、全国中学校体操競技選手権大会 ②北信越高等学校体育大会（駅伝）支援、福井県駅伝選手権大会支援 ③全日本学生体操競技選手権大会・全国中学校体操競技選手権大会の開催情報発信 ⑤平成30年「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会鯖江市実行委員会において、鯖江市開催競技（体操・なぎなた）の県内大会開催スケジュールを紹介し、競技への関心を高める。	①体育的行事や各種スポーツ大会への積極的参加 小学校：学童体操大会、県陸上競技会、わんぱく駅伝に多数参加 小学校・中学校・高校・一般の全ての駅伝大会は鯖江で実施 ②SABAE 記録会（月1回、駅伝強化のため、自由参加で記録会を行う） ④鯖江市体操協会の外部指導者が保育園に出向き、体操指導を実施	・つつじマラソンの開催 ・鯖江東公園陸上競技場を会場に、小学生、一般、高校駅伝の開催
これまでの進捗状況のまとめ	各年度活動実績・活動状況に記載のとおり	ほとんどの小学校で、各種スポーツ大会の積極的参加を児童に働きかけている。参加を希望する児童に対しては、放課後、体育主任が中心となり他の職員も協力しながら指導を行い、大会には多くの児童生徒が参加している。 月に1回のペースで行われている SABAE 記録会では、市内陸上指導強化委員が主体となり、事業計画・大会運営を実施している。自由参加であるが、多くの児童・生徒が参加し、競技力向上につながっている。	駅伝のまちとして、毎年、鯖江東公園陸上競技場を発着とした福井県駅伝競走大会が開催されており、地元の鯖江高校は大会で優勝し全国大会への出場が常連となっている。
今後の課題	競技人口が少ないスポーツでもあり、大会やイベントが開催されていない期間には、どうしても市民の関心も低くなる傾向にある。市を代表するスポーツとして定着させるためには、年間を通じて市民を含め県内外に広くアピールするための情報発信方法を考えていく必要がある。	SABAE 記録会や保育園での体操指導など、ほぼボランティアであり、自発的な支援活動である。ほとんどの指導者は、スケジュール調整が難しい中、事業運営をしているため、負担が大きい。指導者の対応がもっと優遇されるとよい。指導者の育成も推進していくことにも力を入れるべきである。	
新たな具体的展開	鯖江市での開催競技となる「体操」「なぎなた」については、『平成30年「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会鯖江市広報基本計画』に従い、効果的かつ積極的な広報活動を行う。		
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価	今後の方向性の確認	推進委員会の提言

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

基本目標	3	スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げる		
基本方針	(3)	競技力向上のための支援体制の充実		
基本方針詳細	(3) - 2	競技スポーツの指導体制の充実		
		平成30年の福井国体での開催県にふさわしい成績の獲得に留まらず、福井国体後も競技者がそれぞれの能力を最大限発揮し、好成績を持続できるように、競技スポーツにおける指導体制の充実、個々の指導者の育成・資質向上を図ります。		
具体的施策	④	一貫指導体制の確立		
具体的内容		(一社)鯖江市体育協会を中心として、総合型地域スポーツクラブなどの各種スポーツ団体、学校部活動指導者などが連携し、一貫した指導理念に基づく指導体制の確立を図ります。		
具体的展開		①優れたジュニア選手を対象とする発育・発達段階に応じた組織的・計画的な指導(新規) ②競技スポーツ指導者および学校部活動指導者の交流による情報交換、指導技術の共有化(新規) <b>【3-(3)-⑤で再掲】</b>		
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市学校教育課	市体育協会	さばえスポーツクラブ
	24年度	②・各部活：地区選抜強化活動(鯖丹地区での強化練習会や他地区選抜チームと交流試合) ：週末に県外遠征。他県の生徒・指導者の交流による情報交換、指導技術の共有化を図る。	指導者研修会(演題：子供たちと共に：足羽高校 林先生)80名	クラブはスポーツ入門の場として、誰もがスポーツに入りやすい体制をとり、初心者から指導をしている。小学生から中学生への一貫指導となる種目は硬式テニス・柔道・バスケット・陸上・なぎなた・体操・卓球・ソフトテニス・サッカーの9種目がある。特に硬式テニスは、レベルに応じたジュニア育成が来ている。
	25年度	①・「チームふくい」ジュニアアスリート強化事業(H30年福井国体の少年種別選手として活躍が期待できる年代の選手を強化指定選手に認定し、継続かつ計画的な選手強化を行い、競技力の向上を図る) 鯖江中：21名、中央中：17名、東陽中：6名、小学校：17名 ②・各部活：地区選抜強化活動(鯖丹地区での強化練習会や他地区選抜チームと交流試合) ：週末に県外遠征。他県の生徒・指導者の交流による情報交換、指導技術の共有化を図る。	指導者講習会(陸上トップアスリート)藤光選手他4名	クラブはスポーツ入門の場として、誰もがスポーツに入りやすい体制をとり、初心者から指導をしている。小学生から中学生への一貫指導となる種目は硬式テニス・柔道・バスケット・陸上・なぎなた・体操・卓球・ソフトテニス・サッカーの9種目がある。特に硬式テニスは、レベルに応じたジュニア育成が来ている。
	26年度	①・「チームふくい」ジュニアアスリート強化事業(H30年福井国体の少年種別選手として活躍が期待できる年代の選手を強化指定選手に認定し、継続かつ計画的な選手強化を行い、競技力の向上を図る) 鯖江中：25名、中央中：28名、東陽中：4名、小学校：12名 ・強化指定選手対象の県・北信越ブロックでの合宿参加(各種目ごと) ②・各部活：地区選抜強化活動(鯖丹地区での強化練習会や他地区選抜チームと交流試合) ：週末に県外遠征。他県の生徒・指導者の交流による情報交換、指導技術の共有化を図る。		クラブはスポーツ入門の場として、誰もがスポーツに入りやすい体制をとり、初心者から指導をしている。小学生から中学生への一貫指導となる種目は硬式テニス・柔道・バスケット・陸上・なぎなた・体操・卓球・ソフトテニス・サッカーの9種目がある。特に硬式テニスは、レベルに応じたジュニア育成が来ている。
	27年度	①・「チームふくい」ジュニアアスリート強化事業(H30年福井国体の少年種別選手として活躍が期待できる年代の選手を強化指定選手に認定し、継続かつ計画的な選手強化を行い、競技力の向上を図る) 鯖江中：37名、中央中：41名、東陽中：6名、小学校：4名 ・高校運動部顧問による選手数の少ない国体競技における有望選手発掘・誘導 ②・各部活：地区選抜強化活動(鯖丹地区での強化練習会や他地区選抜チームと交流試合)	指導者研修会(演題：負けに負けない：清水智信)200名	クラブはスポーツ入門の場として、誰もがスポーツに入りやすい体制をとり、初心者から指導をしている。小学生から中学生への一貫指導となる種目は硬式テニス・柔道・バスケット・陸上・なぎなた・体操・卓球・ソフトテニス・サッカーの9種目がある。特に硬式テニスは、レベルに応じたジュニア育成が来ている。

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

		:週末に県外遠征。他県の生徒・指導者の交流による情報交換、指導技術の共有化を図る。					
	28年度	①・「チームふくい」ジュニアアスリート強化事業（H30年福井国体の少年種別選手として活躍が期待できる年代の選手を強化指定選手に認定し、継続かつ計画的な選手強化を行い、競技力の向上を図る） 鯖江中：25名、中央中：24名、東陽中：3名、小学校：？名 ・高校運動部顧問による選手数の少ない国体競技における有望選手発掘・誘導 ②・各部活：地区選抜強化活動（鯖丹地区での強化練習会や他地区選抜チームと交流試合） :週末に県外遠征。他県の生徒・指導者の交流による情報交換、指導技術の共有化を図る。					クラブはスポーツ入門の場として、誰もがスポーツに入りやすい体制をとり、初心者から指導をしている。小学生から中学生への一貫指導となる種目は硬式テニス・柔道・バスケット・陸上・なぎなた・体操・卓球・ソフトテニス・サッカーの9種目がある。特に硬式テニスは、レベルに応じたジュニア育成が出来ている。
これまでの進捗状況のまとめ						・体育協会は自主事業として「ジュニアアスリートクリニック in さばえ（JACIS）」を開催しており、トップアスリートを招聘して実技や講演会をとおして青少年育成による競技力向上を図っている。	クラブの指導者は変わらないが、学校顧問には異動があり、小中間の一貫指導体制はあれど、安定しているわけではない。協会・連盟所属のクラブ指導者の種目では、一貫指導が安定している。
今後の課題							若い世代の、総合型地域スポーツクラブを知らない顧問とのコミュニケーション不足から、中学校部活との連携が年々薄れてきている危機感がある。
新たな具体的展開							顧問とのコミュニケーションを図る。
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言		

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

基本目標	3	スポーツ活動をより充実させるためのネットワークを広げる			
基本方針	(3)	競技力向上のための支援体制の充実			
基本方針詳細	(3) - 2	競技スポーツの指導体制の充実			
		平成30年の福井国体での開催県にふさわしい成績の獲得に留まらず、福井国体後も競技者がそれぞれの能力を最大限発揮し、好成績を持続できるように、競技スポーツにおける指導体制の充実、個々の指導者の育成・資質向上を図ります。			
具体的施策	⑤	競技スポーツ指導者の育成			
具体的内容		一貫指導体制のもと、関係団体が相互の連携を取りながら、高い専門的な指導能力を持つ競技スポーツ指導者の育成を図ります。			
具体的展開		①競技スポーツ指導者および学校部活動指導者の交流による情報交換、指導技術の共有化(再掲) 【3-(3)-④で再掲】 ②最新のスポーツ科学やスポーツ医学を取り入れた研修会の開催 ③福井県広域スポーツセンターによるスポーツ指導者バンクの普及・活用(再掲) 【3-(2)-③で再掲】 ④鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用(再掲) 【3-(2)-③で再掲】 ⑤全国大会などで活躍した地元アスリートの指導者としての配置(再掲)(新規) 【1-(3)-①で再掲】			
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市学校教育課	市体育協会	さばえスポーツクラブ	鯖江北コミュニティースポーツクラブ
	24年度	②・運動部活動地域連携再構築事業 ○運動部活動指導者研修会 (1)「学校運動部活動における熱中症等の予防対策」 講師 戎 利光教授 (福井大学教育地域科学部人間文化講座教育学博士・医学博士)	鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用		
	25年度	②・スポーツ医・科学等を活用した高度な運動部活動指導体制の構築 ○運動部活動指導者研修会 (1)「コーチングスキルの強化」 講師 勝木豊成氏 (福井県医・科学委員会副委員長・心理部会長) (2)「運動部活動での危機管理対策について」 講師 水沢利栄氏 (国立大学法人 福井大学教育地域科学部教授) ○地域スポーツ指導者を活用した運動部活動の充実 「運動部活動での指導のガイドライン」(H25.5 文部科学省)を踏まえた実践研究の取組 ・市社会人・地域人材活用事業 (1)児童生徒対象：教科・特別活動の時間に、科学者・情報処理等の技術者・企業等の実務経験者・芸術家・地域の伝統文化の継承者・スポーツ選手・海外勤務経験者・外国人等を活用【 (2)小学校のクラブ活動・中学校の部活動：外部指導者を活用】 ⑤・地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト ○トップアスリートの巡回指導 種目：体操、なぎなた、ホッケー、テニス、サッカー、剣道、野球、ハンドボール トップアスリート：9名 アシスタントコーチ：11名	鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用		
	26年度	②・スポーツ医・科学等を活用した高度な運動部活動指導体制の構築 ○運動部活動指導者研修会 (1)「運動部活動の指導におけるアンガーマネジメントおよび競技パフォーマンスを向上させるためのアンガーマネジメント」 講師 安藤俊介氏 (社団法人日本アンガーマネジメント協会代表理事)	鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用		剣道研修(高知大学、矢野先生)

		<p>(2)「SAQトレーニングの理論と実技講習」                  講師 渡邊 研氏 (特定非営利活動法人日本SAQ協会)                  ○地域スポーツ指導者を活用した運動部活動の充実                  「運動部活動での指導のガイドライン」(H25.5 文部科学省)を踏まえた実践研究の取組                  ⑤・地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト                  ○トップアスリートの巡回指導                  種目:体操、なぎなた、ホッケー、テニス、サッカー、剣道、野球、ハンドボール ト                  ップアスリート:9名 アシスタントコーチ:9名</p>			
27年度	<p>①・運動部活動指導者サミット(各中学校の部活動顧問 計8名参加)                  ○運動部活動における体罰の根絶、適切かつ効果的な運営・指導の普及                  ②・スポーツ医・科学等を活用した高度な運動部活動指導体制の構築                  ○運動部活動指導者研修会                  (1)「生徒の意欲を向上させ自己肯定感を高める言葉かけ」                  講師 桶谷 靖夫氏(一般財団法人日本ペップトーク普及協会)                  (2)「けがの予防と体幹を鍛えるトレーニング」                  講師 東 伸英氏(新田塚学園 福井医療短期大学リハビリテーション 学科理学療法学専攻准教授、理学療法士)                  ⑤・地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト                  ○トップアスリートの巡回指導                  種目:体操、なぎなた、ホッケー、テニス、サッカー、剣道、野球、ハンドボール ト                  ップアスリート:10名 アシスタントコーチ:9名</p>	鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用		バスケクリニックの実施(東京から指導者(ERUTLUC)が来て、小学生、中学生を指導)指導者も参加、 剣道研修(高知大学、矢野先生)	
28年度	<p>②・スポーツ医・科学等を活用した高度な運動部活動指導体制の構築                  ○運動部活動指導者研修会                  (1)「優れた選手を育てるためには指導者に何が求められているのか～暴力に頼らない指導」                  講師 水沢利栄教授(福井大学教育学部)                  (2)「未定」11月実施予定                  講師 氏                  (3)スポーツ医・科学の知見を有する講師による講習会                  講師 田邊 亨先生(福井総合クリニック リハビリテーション課)                  講師 高岸理恵先生(福井総合クリニック リハビリテーション課)                  ○地域スポーツ指導者を活用した運動部活動の充実                  「運動部活動での指導のガイドライン」(H25.5 文部科学省)を踏まえた実践研究の取組</p>	鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用		バスケクリニックの実施(東京(ERUTLUC)から指導者が来て、小学生、中学生を指導)指導者も参加、	
これまでの進捗状況のまとめ	<p>運動部活動指導者研修会では、部活動顧問が地域のスポーツクラブの講習会に参加し、指導者としての知識を高めることができ、最先端の科学的な指導内容や方法を導入することができた。地域スポーツ指導者を活用した実践研究の取組では、どの種目も顧問と地域スポーツ指導者が連携をしっかりと行うことができた。そのため、部活動で取り組んでいることをより専門的な技術指導が入ることで、子どもたちの意欲向上につながり、活気のある部活動となっていた。</p>	鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの普及・活用	種目数が多く、魅力ある指導者研修を一堂に開催することが困難である。中学校で活躍した地元選手が県外から戻り、クラブ会員として再び競技を始めるケースがぼちぼち出てきた。この	実際には、プレイヤーを指導しているが、指導者も参加しており、指導法研修の場となっている。過去には、剣道、バスケットで指導者を招いており、バスケットは昨年来、月1回、実行	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標3

	<p>トップアスリートの巡回指導では、専門的な指導を受けて各部とも技術が上達し、試合でのパフォーマンスの向上につながった。生徒の意欲も高まり、各部の活動では、自主的に活動する姿も見られた。トップスポーツ技術と子ども達の大きな目標と夢が地域スポーツの中で、相乗効果をあげることができており、まさしく好循環が生み出された。</p>					<p>ような人材がスポーツを楽しむだけでなく、指導者として係わってもらえるよう、育成している。</p>	<p>している。</p>
今後の課題	<p>運動部活動指導者研修会では、教わったことなどを、部活動顧問会などで各顧問に伝えていく時間をとれると良いが、多忙化により、時間の調整が難しい。指導法や指導体制について共通理解を図るための場の持ち方に工夫が必要である。</p> <p>地域スポーツ指導者を活用しての部活動運営は、部員にとって効果的な指導を受けることができるが、そのためには、地域スポーツ指導者と部活動顧問との連携が大切である。練習メニューや指導の方向性などについて、両者が共通理解しながら指導していけるよう、打ち合わせをすることが大前提であるが、その時間を確保することが難しい。</p> <p>トップアスリートの巡回指導は、地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクトが平成27年度で終了したため、平成28年度は実施されていない。生涯スポーツにつながる、子どもたちにとって夢のある事業なので今後、また再開できるとよい。</p>				<p>鯖江市生涯学習スポーツ人材バンクの登録者数増加を図る。</p>	<p>指導者研修会の充実。</p>	
新たな具体的展開	<p>指導体制づくりの強化。関係部活動顧問と部活動総括担当が連携し、地域スポーツ指導者と保護者、学校が共通理解をもって生徒育成できるよう努めていく。</p>					<p>市民大会などに出場する選手のチェック。アンテナを張り、声掛けをしていく。</p>	
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言		